

令和8年度 第1回 公共調達監視委員会議事録

日 時 令和8年6月26日（金） 14：00～14：50

会 場 山下庁舎3階 第2会議室

出席委員（敬称略）

畑井 清隆（大学教授）

大脇 通孝（弁護士）

森 征一郎（税理士）

1 開会

2 総務課長あいさつ

3 委員長選出

畑井委員を委員長に選出

4 審査等

審査案件について、事務局の会計第二係長が公共調達監視委員会審査調書等により説明を行った。

説明終了後に委員からなされた質問、意見及びこれらに対する事務局の回答は以下のとおりである。

以下、質疑応答

＜物品・役務等＞

【競争入札：整理番号1】

鹿児島障害者職業能力開発校における訓練用パソコン等リース契約

（委員）公告案内をしたリース業者5社の選択基準は何か。

（担当）入札公告後に九州圏を中心に約20社から検討し、実績や他労働局での契約状況を確認したうえで5社に入札公告を出していることを連絡し、応札の検討を呼び掛けた。

（委員）そのような個別の連絡は公平性を疑われるのではないか。実際、応札は1者となっている。

（担当）一般的に不適切な行為とされてはいないので、入札不調や1者応札などの結果を避けるために行ったもの。結果的に1者応札となった原因としては、5年間の保守契約、代替品不可、納期などの条件の厳しさが影響していると考えられる。

（委員）九州圏に限らず全国の業者への周知拡大や、保守・リース・購入の分離発注など検討してもよいのではないか。

（担当）今後の調達の際、ご意見を参考にしていきたい。

【競争入札：整理番号2】

鹿児島公共職業安定所外9拠点における什器類購入

（委員）落札率が96.8%と非常に高いが何故か。

(担当) 市場価格不明（オープン価格やインターネットで価格が不明）の機器（プリンター）について、3社から参考見積を取得し、それを参考に予定価格を設定した。そのため落札率が高くなったと考えている。

(委員) 入札において、参考見積を提出した3社が有利になるのではないかな。

(担当) 参考見積社が有利にならないよう、納品場所や台数などの詳細条件は示さず、大まかな条件で参考見積を依頼した。

(委員) 契約実績が多い業者から参考見積をもらうことが公正性への疑念が生じるのではないかな。

(担当) ご指摘を踏まえ、今後、参考見積を取得する際は今以上に慎重にしたい。

【競争入札：整理番号3】

鹿児島公共職業安定所レイアウト変更に伴う備品購入及び移設作業等

(委員) 整理番号2と3の入札参加業者7者は全く同じだが。

(担当) 対応できる地域の業者数が不足しているためと考えられる。

(委員) 県外も視野に入れた入札公告の情報発信強化も必要では。

(担当) ご意見を参考にして、今後の公告周知方法について見直しを検討していきたい。

5 案件の承認

全案件について、委員からの異議はなく、すべて承認された。

6 閉会